

おおかみは、うさぎを通したとき、どんな気持ちだった？

- ・たくさんやさしくなった。
- ・うれしくなった。

ねらい

★おおかみの行動について考えたり、演じてみたりすることを通して、温かい気持ちをもって、親切な行動をしようとする心情を育てる。

みつばち1年

あたたかい心で親切に

(B 親切, 思いやり) はしの上のおおかみ



工夫

- ・ペープサートで教材の理解を図る。
- ・教師のモデリング後、役割演技を行い、自我関与を意識させる。
- ・自立活動の遊びを通して、各児童の「優しさ」や「思いやり」を教員がみとる。

おおかみは、くまに渡してもらったとき、どんな気持ちだった？

優しくてびっくりした。

だっこがうれしい。

意地悪して悪かったなあ。



強い俺には文句が言えないだろ。

通したくない。

おおかみは、どんな気持ちで「もどれもどれ」と言っている？

意地悪が楽しい。



協議会を通して学んだこと

- ・教材理解を丁寧に行う。低学年や特別支援学級、配慮の必要な児童ほど、教材理解のための手立てが大切で有効。人物や教材の特徴(大きさ・距離)などを抑えることも効果的である。
- ・思考ツールは拡散か収束かを意識して、矢印の向きに注意する。
- ・指導案の書き方・・・ねらいは「心情」「判断力」「実践意欲」「態度」のどれか1つにしぼる。指導方法の工夫は、指導要領をよく確認して記入するとよい。